

平成25年度夏季休業前集会（H25. 7. 19）

- はじめに～区切りの時には、振り返りが大切。I期始業式の話から。

△ 3年生（127期）は最終学年。

目標に対する思いが強ければ強いほど、達成可能性は高まる。

△ 2年生（128期）は中堅学年としての強い自覚を。

△ 1年生（129期）入学式、大震災を経験した一人の人間として、自分の夢を見つけ、その夢に向かって高い志を掲げ、それを持ち続けて、
安積の同期生と共に切磋琢磨し、安積の誇り・プライドを胸に抱いて、充実した高校生活を送って

△ 三つのC～ Concentrate, Continue, & Complete
集中せよ 継続せよ 完成させよ

△ まとめると

川はいつも流れていなくてはならぬ	継続
石は転がり続けなくてはならぬ (like a rolling stone)	
頭はいつも冷えていなくてはならぬ	冷静さ・集中
目はいつも澄んでいなくてはならぬ	謙虚・誠実・純粋
心はいつも燃えていなくてはならぬ	志を達成する強い気持ち

- 当たり前のことが当たり前に見える「自らを律する」生徒に
人と会ったら挨拶をする、助けてもらったらありがたうと言う、授業の予習復習を毎日する、人が嫌がることをしない、つまり、人間として高校生として
当たり前のことが当たり前に見えること。

- 教育実習生のメッセージ

- ・ 「信は力なり」「継続は力なり」、毎日の積み重ねが皆さんを作る。この安積高校で学んでいることに誇りを持ち、自分や仲間を信じ、この時間を大切にしてほしい。
- ・ 第一志望に合格するには、いかに特別な対策をするかでなく、いかに当たり前のことを地道にできるかが重要
- ・ 今、一番やるべきことは、一つ一つの授業に全力を注ぐこと
- ・ 数多くある選択肢の中から、たった一つを選び取ることは常に難しい。理想と現実、自己と他者との板挟みで、迷って悩んで苦しんで当たり前。

～まだ教師になっていない彼らの言葉、このように深い言葉がたくさんあるのはなぜなのか？理由はいろいろ推測できるが、

実習生がかつて安積の教師に繰り返し言われたからということもあるだろう。結局、「勉強に王道なし」とは言うけれども、「自分自身を高めるためには一歩一歩歩み続けるしかない」ということが、いつの時代にも変わらない真理なのだ、ということなのかも知れない。

春先の3学年便りに私はこう書いた。～自分が志す「高み」に辿り着こうと着実な歩みを続けている人こそが、真の"the top"に値するのだ～

- 夏休みの過ごし方

この後、クラス担任から話があるので省略。

一つだけ、「自分自身をしっかりと見つめ直す時間をとること」